

農林水産省試算  
( 補足資料 )

平成22年10月27日

農林水産省

# 農林水産省試算の方法(手順)

## (1) 試算対象品目の選定

関税率10%以上、国内生産額10億円以上  
(米・麦など19品目)。

## (2) 国産品の分類

内外価格差、品質格差の観点から、輸入品と競合する  
国産品と競合しない国産品に二分。

## (3) 試算の方法

- ① 競合する国産品は、輸入品に置き換わる。
  - ・ 生産減少額＝国産品価格×国産品生産量

② 競合しない国産品は、安価な輸入品の流通に伴って価格が低下する。

- ・ 生産減少額＝価格低下分×国産品生産量

※ 価格は、原則として5年中庸3年平均、3年平均の値を用いるなどして平準化するとともに、国産品も輸入品も共に卸売業者の仕入価格等を用いて同等の条件で試算。

(注)上記の他、産業連関分析等により、GDP減少額、就業機会の減少数、食料自給率の低下、多面的機能の喪失を試算

# 米

関税率(TQ、国貨品目は2次税率)

341円/kg (568.4 - 777.7%)  
国貨品目

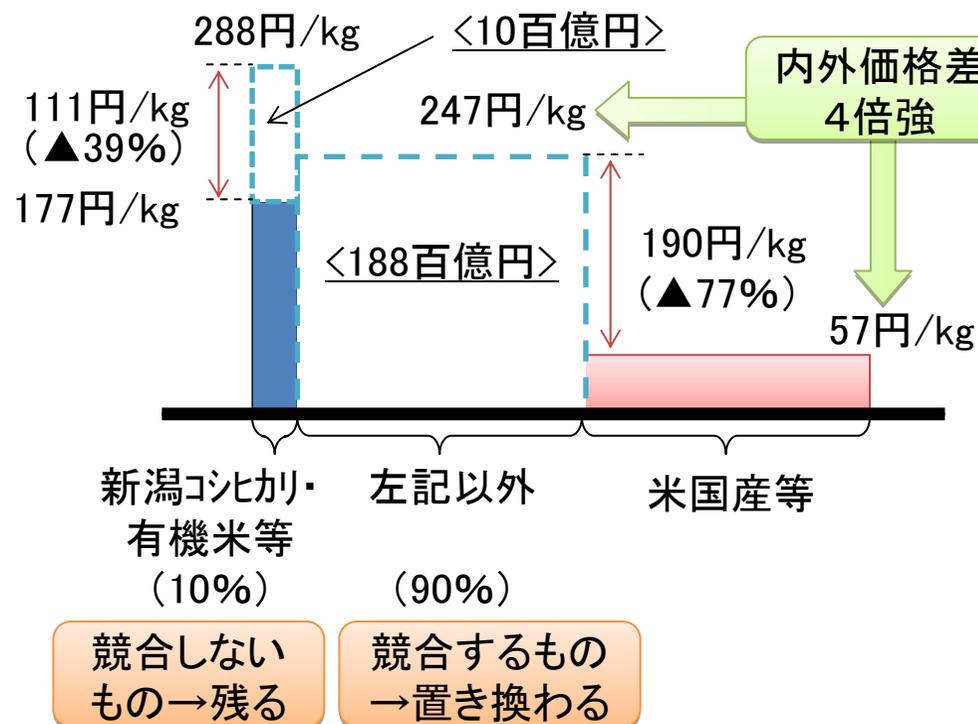
主産地(農業産出額上位5位)

新潟県、北海道、秋田県、福島県、茨城県

## 考え方(シナリオ)

- 外国産米の価格は、国産の1/4程度(内外価格差4倍強)であり、品質格差も今後の品種転換等により解消可能。
- 米国では、輸出量が現在約400万トンあり、これにアジア諸国等の輸出量を含めると我が国の生産量を上回る水準。
- 国産米のほとんどが外国産米に置き換わり、新潟コシヒカリ・有機米といったこだわり米等の差別化可能な米(生産量の約10%)のみ残る。

## イメージ図



生産減少額 = 197 百億円

# 小麦

関税率(TQ、国貨品目は2次税率)

55円/kg (247.8 - 251.8%)  
国貨品目

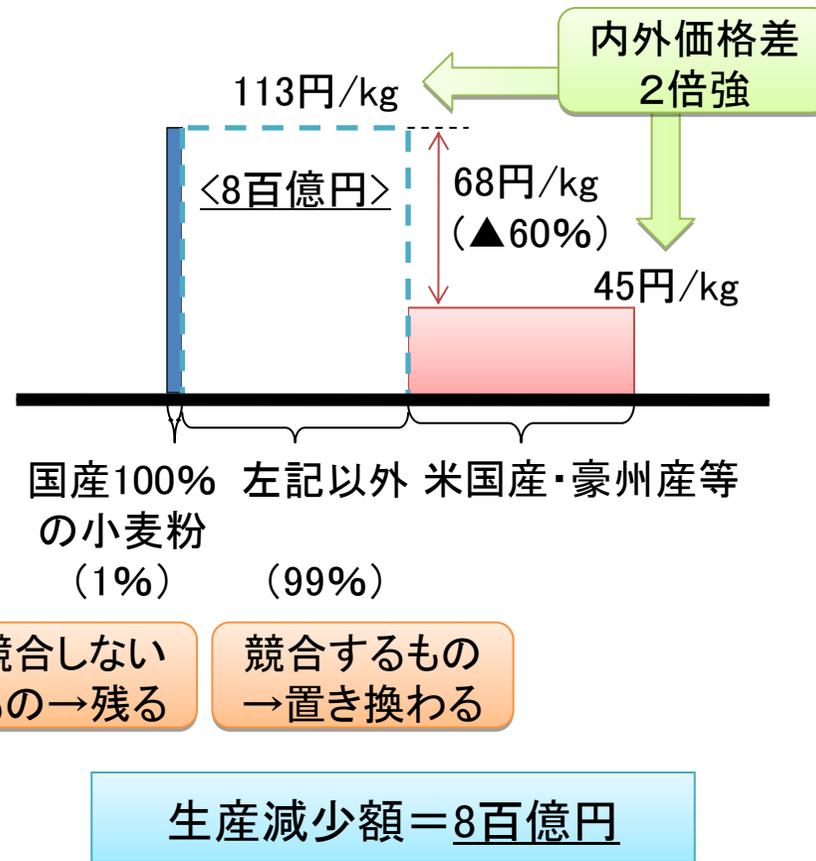
主産地(農業産出額上位5位)

北海道、福岡県、佐賀県、群馬県、埼玉県

## 考え方(シナリオ)

- 外国産小麦粉の価格は、国産の1/2程度(内外価格差2倍強)で、原料小麦の価格を含まない国内の製粉コストとほぼ同等。
- 現在は小麦が輸入され、国内で製粉されているが、小麦粉で輸入されるようになる。
- 国産100%をセールスポイントとする差別化可能な小麦粉(生産量の約1%)を除いて外国産小麦粉に置き換わり、国産小麦のほとんどが引き取られなくなる。
- このとき、輸入小麦から徴収しているマークアップ(約800億円)も喪失。

## イメージ図



# 甘味資源作物

関税率(TQ、国貨品目は2次税率)

主産地(農業産出額上位5位)

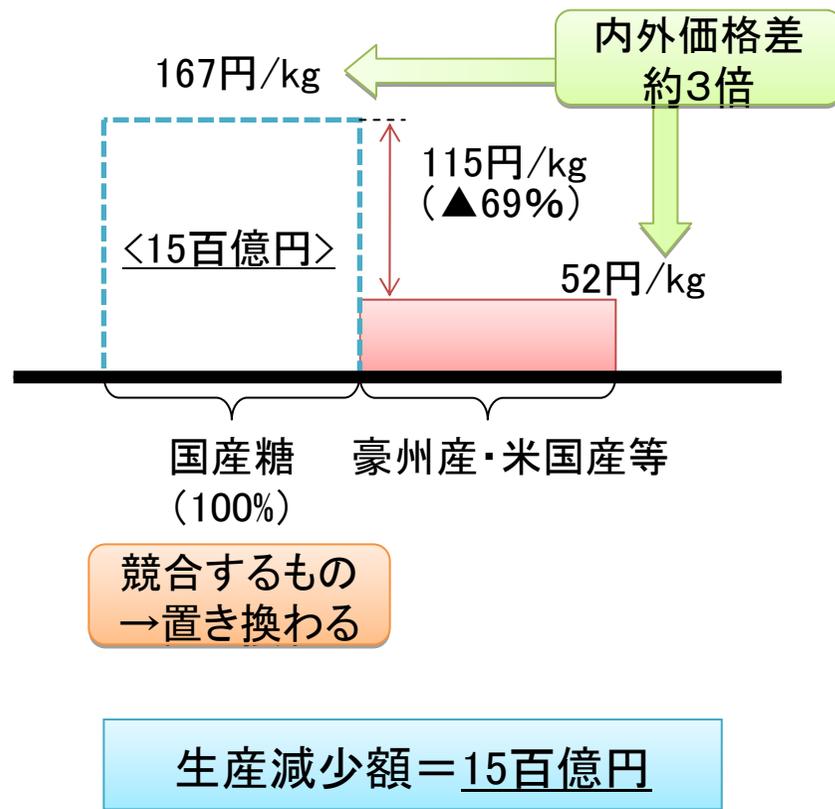
粗糖71.8円/kg、精製糖103.1円/kgの  
範囲内で関税及び調整金を徴収

北海道、沖縄県、鹿児島県

## 考え方(シナリオ)

- 外国産精製糖の価格は、国産精製糖の1/3程度(内外価格差約3倍)で、原料糖の価格を含まない国内の精製コスト等を下回る水準。
- 現在、粗糖が輸入され、国内で精製されているが、精製糖で輸入されるようになる。
- 砂糖は、国産と外国産とで品質格差がないことから、国産糖のすべてが外国産精製糖に置き換わり、国産甘味資源作物は引き取られなくなる。
- このとき、輸入糖等から徴収している調整金(約500億円)も喪失。

## イメージ図



# 牛乳乳製品

関税率(TQ、国貨品目は2次税率)

主産地(農業産出額上位5位)

例) 飲用乳 21.3%+114円/kg 国貨品目  
バター 29.8%+985円/kg 国貨品目

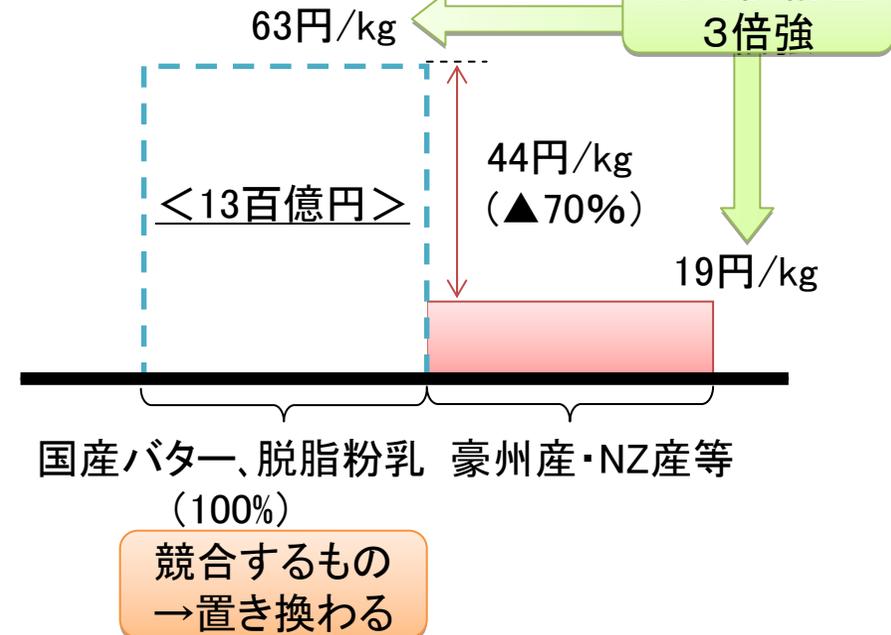
北海道、栃木県、千葉県、群馬県、熊本県

## 考え方(シナリオ)

- バター、脱脂粉乳、チーズ等の乳製品は、内外価格差が大きく(バター、脱脂粉乳では約3倍)、品質格差もほとんどないため、国産のほぼ全量が外国産に置き換わる。
- 輸入乳製品の急増により行き場を失った北海道の乳製品向け生乳が都府県の飲用向けに供給され、都府県の生乳生産はプレミアム牛乳向けを除いて消滅。
- なお、飲用乳は、輸送技術の発達等により輸入が可能になり、価格も牛乳で国産の1/2程度(内外価格差約2倍)であるため、業務用牛乳、加工乳等を中心に国産の2割程度が置き換わる。

## イメージ図

例) バター、脱脂粉乳



**バター、脱脂粉乳の生産減少額 = 13百億円**

**牛乳乳製品全体の生産減少額 = 45百億円**  
(うち飲用乳輸入の影響 18百億円)

# 牛肉

関税率(TQ、国貨品目は2次税率)

38.5%

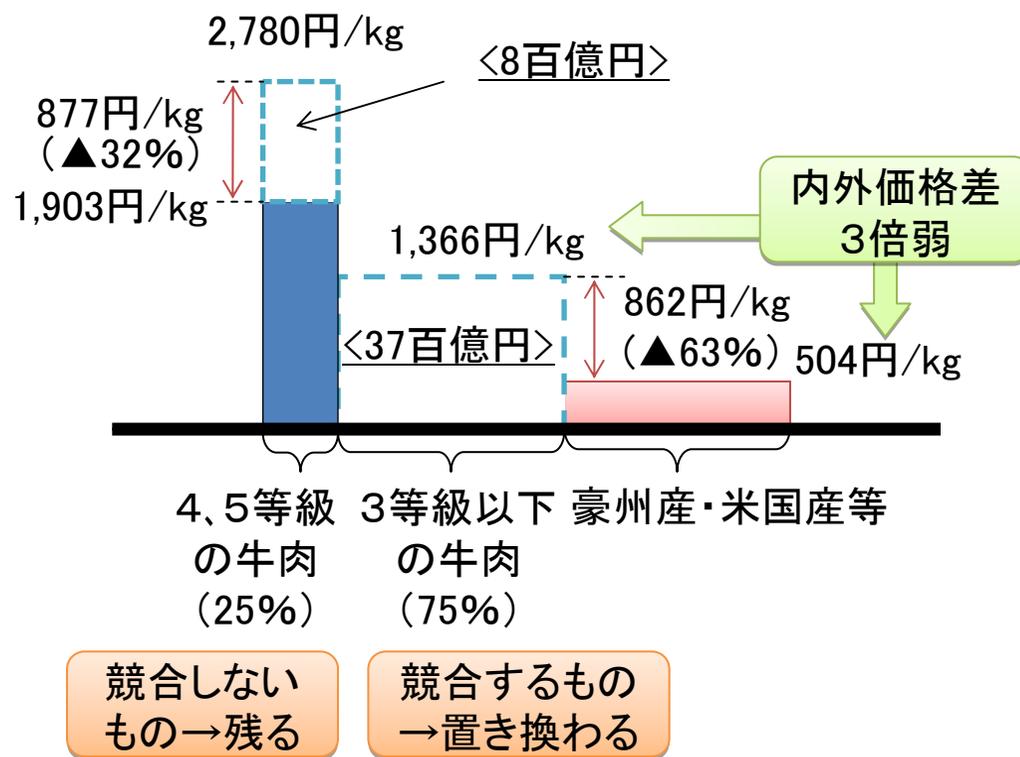
主産地(農業産出額上位5位)

鹿児島県、宮崎県、北海道、熊本県、栃木県

## 考え方(シナリオ)

- 外国産牛肉の価格は、国産の1/3程度(内外価格差3倍弱)。
- 肉質3等級以下の国産牛肉(生産量の約75%。乳用種のほぼ全量と肉専用種(和牛肉)の約半分に相当)が外国産牛肉に置き換わり、肉質4、5等級の国産牛肉は残る。
- このとき、輸入牛肉から徴収している牛肉関税(約700億円)も喪失。

## イメージ図



生産減少額=450億円

国境措置撤廃による農産物生産等への影響試算(データ諸元)①

○ 価格

項目	単位	米		小麦(小麦粉)		甘味資源作物(砂糖)	
		データ	データの諸元	データ	データの諸元	データ	データの諸元
<競合するもの>							
国産品価格	円/kg	247	全銘柄相対価格 <06~08年産3年平均> 【農水省・米穀の取引に関する報告】	113	国内産小麦粉(中力粉)の工場出荷価格 <05~09年産5中3平均> 【農水省・麦製品等の取引価格調査】	167	精製糖の市中相場価格 <05~09砂糖年度5中3平均> 【日本経済新聞】
輸入品価格	円/kg	57	中国産短粒種SBS価格(玄米換算) <00年(過去最低価格(注))> 【農水省・輸入米に係るSBS結果概要】	45	中国産小麦粉FOB価格(諸掛(フレート、保険料、引取経費)加算) <05~09年度5中3平均> 【UN comtrade(フレートは輸入業者聞き取り)】	52	ロンドン白糖価格(諸掛(フレート、保険料、引取経費)加算) <05~09砂糖年度5中3平均> 【英国ロンドン市場公表データ】
<競合しないもの>							
国産品価格	円/kg	288	新潟コシヒカリ相対価格 <06~08年産3年平均> 【農水省・米穀の取引に関する報告】	113	国内産小麦粉(中力粉)の工場出荷価格 <05~09年産5中3平均> 【農水省・麦製品等の取引価格調査】	—	
国境措置撤廃後の国産品価格	円/kg	177	競合するものの価格低下率(内外価格差÷国産品価格)の1/2の割合での価格低下を見込む	113	実需者との強い結びつきを考慮し、価格低下はないものと見込む	—	
考え方		卸売業者の玄米仕入価格で比較		卸売業者の小麦粉仕入価格で比較		卸売業者の精製糖仕入価格で比較	

(注)中国産短粒種は、95~08年にかけて、現地価格(国内玄米価格換算)が23~48円/kg、SBS価格(国内玄米価格換算)が57~156円で推移。海上運賃3円/kgを考慮したとしても、SBS価格は、現地価格よりはるかに高いため、過去最低のSBS価格を使用。

SBSとは、輸入業者と実需者が連名で入札する国家貿易の一形態であるが、輸入数量が極めて限られていること等から割高となる傾向。

○ 生産量

項目	単位	米		小麦(小麦粉)		甘味資源作物(砂糖)	
		データ	データの諸元	データ	データの諸元	データ	データの諸元
<競合するもの>							
国産品生産量	千トン	7,607	国内産総生産量(8,466千トン)－競合しないもの の生産量(859千トン) <09年産(競合しないものは08年産・年度)> 【農水省・作物統計】	679	国内産総生産量(880千トン)－国内産小麦100% 使用を謳い付加価値を付けた製品原料(10千ト ン)(小麦粉換算(×0.78)) <08年産> 【農水省・作物統計】	869	国内産糖総生産量(精糖換算) <08砂糖年度> 【農水省・砂糖及び異性化糖の需給見通し】
<競合しないもの>							
国産品生産量	千トン	859	新潟コシ生産量＋有機米等こだわり米生産量 <08年産(有機米生産量は08年度)> 【農水省・作物統計、農水省・JAS法に基づく有 機農産物格付実績】	8	国内産小麦100%使用を謳い付加価値を付けた 製品原料(北海道産8千トン、都府県産2千トン) (小麦粉換算(×0.78)) <08年産> 【農水省調べ(製粉メーカー聞き取り)】	0	

国境措置撤廃による農産物生産等への影響試算(データ諸元)②

○ 価格		牛乳乳製品(例:バター、脱脂粉乳)		牛肉	
項目	単位	データ	データの諸元	データ	データの諸元
<競合するもの>					
国産品価格	円/kg	63	特定乳製品(バター、脱脂粉乳)向け生乳取引価格 <05~09年度5中3平均> 【農水省調べ】	1,366	中央市場枝肉卸売価格(肉質等級4,5等級以外の平均、部分肉換算価格(÷0.7)) <09年度> 【農水省・畜産物流通統計】
輸入品価格	円/kg	19	世界総計CIF価格(生乳換算価格) <05~09年度5中3平均> 【財務省・貿易統計】	504	世界総計CIF価格 <05~09年度5中3平均> 【財務省・貿易統計】
<競合しないもの>					
国産品価格	円/kg	—		2,780	中央市場枝肉卸売価格(肉質等級4,5等級の平均)(部分肉換算(÷0.7)) <09年度> 【農水省・畜産物流通統計】
国境措置撤廃後の国産品価格	円/kg	—		1,903	競合するものの価格低下率(内外価格差÷国産品価格)の1/2の低下と見込む
考え方		乳業メーカーの生乳仕入価格で比較		卸売業者の仕入価格(部分肉換算)で比較	

○ 生産量		牛乳乳製品(例:バター、脱脂粉乳)		牛肉	
項目	単位	データ	データの諸元	データ	データの諸元
<競合するもの>					
国産品生産量	千トン	2,036	国内産総生産量 <09年度> 【農水省・牛乳乳製品統計】	272	国内産総生産量(362千トン)×1~3等級格付割合(75.3%) <09年度> 【農水省・畜産物流通統計】
<競合しないもの>					
国産品生産量	千トン	0		89	国産品生産量×4,5等級格付割合(24.7%) <09年度> 【農水省・畜産物流通統計】